

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	新生児病棟、産婦人科病棟における適正な抗菌薬使用、選択に関する検討
研究期間	2019年5月7日～2023年12月31日
対象患者	2005年4月1日～2021年3月31日の間に、当院を受診した妊婦のうち、妊娠経過中に産道、膣、泌尿器・生殖器系部位から細菌検査を実施した妊婦およびその妊婦から出生した新生児
調査対象期間	2005年4月1日～2022年3月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院
研究責任者	小児科 金井 理恵
意義・目的	<p>新生児診療では呼吸、循環管理等の医療レベルが進歩していますが、その一方で、新生児の死亡原因、合併症発生の要因は感染症であり、抗菌薬を適正に使用すべきことは、耐性菌を増加させないために重要になっています。</p> <p>新生児診療、周産期診療において、抗菌薬を適正に使用、選択するためには、該当施設での疾患、細菌感染症の背景などを把握することが重要であると考えます。</p> <p>本研究において、当院で受診、出産に至る妊婦の妊娠経過中の産道の細菌検査、当院で出生となった新生児の細菌検査の結果を検討し、抗菌薬の耐性状況を把握し、適切な抗菌薬を選択する指針を探ります。</p>
研究の方法 (試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む)	電子カルテ等を利用して、「利用する試料・情報の項目」に示す項目を抽出します。抽出データを基に、妊婦、および出生新生児の細菌検査結果、細菌感染に関する疾患、合併症の発症の有無を統計処理により検討します。
利用する試料・情報 の項目	<p>母体情報：識別コード、性別、生年月、人種、身長、体重、合併症、既往歴、妊娠・分娩歴、現病歴、細菌検査前治療、細菌検査後の治療、細菌検査日、細菌検査結果（菌種、抗菌薬感受性）、分娩予定日、分娩経路、分娩経過、分娩時合併症 等</p> <p>新生児情報：識別コード、性別、生年月日、人種、身長、体重、合併症、細菌検査日、細菌検査結果（菌種、抗菌薬感受性）、死亡、神経学的予後 等</p>
試料・情報の 提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・ <input type="checkbox"/> なし (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表します。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

小児科 金井 理恵

電話：0853 - 22 - 5111
